

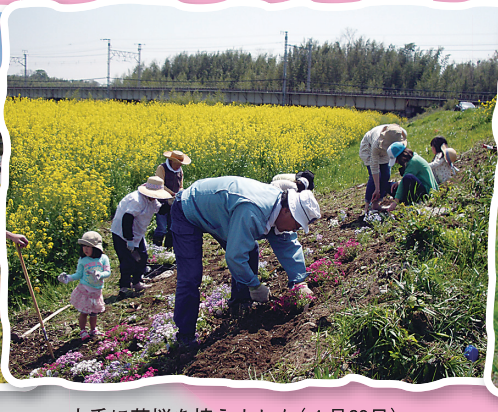
ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

能登川地区まちづくり協議会

「やすらぎの花公園(仮称)」の夢の取り組み



見事に咲いた菜の花(4月23日)



土手に芝桜を植えました(4月29日)



菜の花の刈取り作業(6月13日)

猪子山森林再生除草作業



5月27日(日) 能登川南小学校の「猪子山森林再生プロジェクト」に合わせた除草作業

■主催：猪子町自治会、能登川まち協歴史・文化事業部

4月29日(祝)・30日(月) 愛知川河畔の土手に芝桜を植え、6月13日(水)に菜の花の刈取りを実施、6月30日(土)には、取り組みの成果を祝う行事として、収穫した菜種油を使った天ぷらを試食するイベントを開催しました。

今後は、能登川地区のみんなが集う憩いの場「やすらぎの花公園」として取り組むため、滋賀県東近江土木事務所とまち協が維持管理について協議しています。

この夢を実現するには地区のみなさまの参画なくしてはできません。家族、グループ、地域団体、企業など一人でも多くの方の参画をいただき、地区のみなさまとともに夢を実現したいと考えております。呼び掛け時にはぜひ参画いただきますようお願いします。

■能登川まち協

能登川南こどもの家 恒例 お買い物ごっこ



5月9日(水) 参加者82名

売り手の子も買い手の子も楽しくでき、お金の計算勉強にもなりました。

東日本大震災復興応援メッセージ



「ボランティアバス」に参加いただいた方や、その関係のみなさまの応援メッセージ、また気仙沼市大島地区の小学校や仮設住宅のみなさまからの復興メッセージを展示しています。

場所：能登川支所市民ギャラリー

発行：能登川地区まちづくり協議会 発行日：平成24年7月20日
〒521-1292 東近江市駄光寺町262番地 東近江市能登川支所内
IP 電話 0505-802-2793 (平日午前中) FAX：0505-802-2793
E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp
<http://members.e-omi.ne.jp/notomatikyo/>

No. 32

能登川地区まちづくり協議会

平成24年度 定期総会を開催

5月19日(土) やわらぎホールにおいて、平成24年度定期総会が開催され、参加者は、まち協会員、まちづくり委員など70名。

内容は、平成23年度事業・決算の報告、平成24年度事業・予算の計画と、規約改正の審議がされました。また、能登川コミュニティセンターなどの事業計画の報告がありました。議案は、すべて賛成多数で承認されました。それぞれの内容は、下表のとおり。



■表1 平成23・24年度事業

事業部	23年度主な活動実績	24年度主な活動計画
ふるさと散歩道	○散歩道リーフレットの作成検討。 ○「ふるさと散歩道」見学会。(2回)	◎23年度と同様。 ◎新規取組。 ○散歩道リーフレットの作成。 ○「ふるさと散歩道」の案内看板設置(1ルート)。
プロジェクト	○ライティングベル。(11月～12月) ○能登川病院の今後を考えるフォーラム。(11月) ○イベント、応援事業。	◎23年度と同様。 ◎新規取組。 ○フォーラム事業(まちづくり推進会議と協調)
広報	○まちかど情報誌の発行。(奇数月) ○「ラジオかわらばん」の放送。 ○ホームページの運営。(随時) ○「のともち協 NEWS」の発行。	◎23年度と同様。
地域福祉	○「認知症」など予防啓発活動を「ラジオかわらばん」で放送、「まちかど情報誌」に掲載。 ○元気のつよい活動への協働と支援。 ○かまどベンチの設置。(東佐野、能登川、緑が丘)	◎23年度と同様。 ○かまどベンチは3ヶ所設置予定。
環境	○段ボールコンポスト説明会。(3回実施) ○廃食油回収事業。 ○愛知川河畔清掃。(3月) ○菜の花の種まき。(9月)	◎23年度と同様。 ◎新規取組。 ○やすらぎの花公園(仮称)を造る。
安全・安心	○能登川駅及び駅周辺のパトロール。(4回実施) ○自主防災リーダー研修会。(4回実施) ○自主防災フォローアップ研修。 ○東日本大震災復興支援活動。(5回実施)	◎23年度と同様。 ○東日本大震災復興支援活動は、支援方法を含め検討。 ◎新規事業。 ○自主防災会を有する自治会の情報交換の場を設ける。
歴史・文化	○市民ギャラリーでの展示。(年間)。 ○猪子山森林再生プロジェクト。(6回実施) ○猪子山古墳群見学会。(12月)	◎23年度と同様。 ◎新規事業。 ○古代体験講座の開催。
指定管理	○臨時総会での指定管理受託承認。(10月) ○指定管理者指定申請書の提出。(10月) ○指定管理基本協定調印式。(1月) ○「まちづくり推進会議」の設立。	◎指定管理事業部は、4月1日から、次の事業を行う。 ○能登川コミュニティセンターなどの指定管理運営業務。 ○「まちづくり推進会議」の事務局業務。

主な質疑応答

■第5号議案【平成24年度予算計画】

- Q 一般会計の人件費が、今年度は昨年度実績より少ないのはなぜか。
- A 昨年は、指定管理準備のための勤務時間が増えたためです。
- Q 一般会計で、当初より基金の取り崩し予算建てをしているのはなぜか。
- A 事業計画の遂行には、やむを得ないと考えます。
- Q 災害復旧支援活動会計で、余剰金を繰越しとしているが、本来単年度で処理すべきと考えるが。
- A 24年度も継続して支援を続ける考えのためです。なお、現地の「災害対策本部」が3月末で解散され組織再編成のために予算建てができていないためです。

■表2 平成23年度 決算報告 (単位:千円)

一 般 会 計					
収入	6,111	支出	5,006	残高	1,105
災 害 復 旧 支 援 活 動 会 計					
収入	5,258	支出	4,901	残高	357
基 金 会 計					
繰越	5,676	取崩	2,124	残高	3,551

■表3 平成24年度 予算 (単位:千円)

一 般 会 計					
収入	5,811	支出	5,811	残高	0
災 害 復 旧 支 援 活 動 会 計					
収入	357	支出	0	残高	357
基 金 会 計					
繰越	3,551	取崩	576	残高	2,990
*基金会計の残高には、利息(予定)を含む					

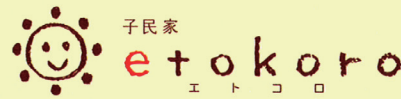
NPO法人 エトコロ

エトコロと言う名前は、絵(芸術)を通して子どもをはぐくむ「絵と子」、地域の人たちが協力して子どもをはぐくむ「えーところ」(良いところ)の想いを込めています。

子どもの健やかな育ちの中に芸術を取り入れ「本物を体験すること」「五感をはぐくむこと」「感動すること」のきっかけづくりとともに、親、子育てにかかわる人、それを支える地域のみなさまが生きいきと活動できる拠点づくりを進めています。

現在、第1・3木曜日は0～1歳児親子、第2・4木曜日は1～3歳児親子を対象にエトコロ教室を楽しく開催しています。(問い合わせ先：北川090-8938-4501まで)

「能魅会」という滋賀県立大学のチームが能登川商店街を多くのみなさまに知ってもらうきっかけとして「ラリルレトロ カフェ」を月に1回開催しています。8月の営業予定は8月25・26日の2日間です。ぜひ一度遊びに来てください。(問い合わせ先：ラリルレトロカフェ代表 岡村(滋賀県立大学生)080-3855-7457まで)



BLOG:<http://etokoro.shiga-saku.net/>

NPO法人 エトコロ

理事長 河島 正行



平成24年度

東近江市総合防災訓練

■日時：9月9日(日) 午前6時30分～

■場所：能登川スポーツセンターグラウンド他
※防災力向上のため、みなさまのご参加をお願いします。

■お問い合わせ先

市役所生活安全対策課

Tel:0748-24-5617 IP:0505-801-5617



ゲートボール体験教室 開催のお知らせ

老若男女を問わず、だれもが楽しめる生涯スポーツ、面白さ、楽しさを体験しませんか。

■日時：7月27日(金)～29日(日)の3日間
9:00～12:00

■会場：やわらぎの郷運動公園

■参加：誰でも参加OK、参加料は無料。

■申し込み：7月25日(水)までに連絡ください。

■連絡先：能登川ゲートボール連盟
中野まで Tel:0748-42-1761

歴史点描 ⑪

市史編纂室だより

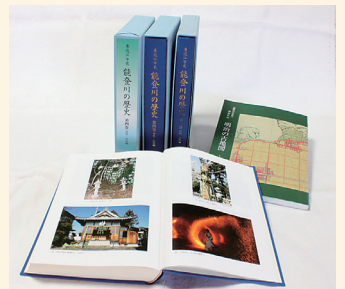
『能登川の歴史』第4巻 好評販売中！

昨年の原始・古代編に続き、『能登川の歴史』第4巻資料・民俗編が刊行しました。この本には、能登川地区にかかわる古文書や、日々の生活のなかで伝承されてきた習俗などの民俗がギュッとまとめられています。

資料編には、古代から現代に至る資料約670点を収録し、伊庭氏・伊庭荘関連資料や、近江商人や麻織物、漁労、干拓といった能登川地区ならではの資料が収められています。また民俗編では、伊庭祭りや川原祭りなど複数のムラが合同でおこなう郷祭りや、内湖の自然環境を利用した生業や習俗などを写真を使って紹介しています。

市内の図書館で閲覧することがありますので、一度手にとってご覧ください。

また、『能登川の歴史』をはじめとする「東近江の歴史シリーズ」は市史編纂室(埋蔵文化財センター内)で販売しています。まだお持ちでない方は、この機会にぜひお買い求めください。



第6話

現状を把握して自分の体を守りましょう

中年を過ぎる頃からの無理な姿勢での力仕事などで徐々に「腰や脊椎」に負担をかけ、年とともに「背中が丸くなる・腰が左右や前に傾く」などの体のゆがみが生じますが、その時はそのことを重大なこととは思わず「痛み」が薄れるとまた同じことを繰り返して前期高齢期を迎えた頃、大きく傾いた自分の姿に驚くということになります。それでもまだ何とか仕事はこなせます。そして、後期高齢期には総体的な体力の低下とともに回復力も落ちて「杖無しでは歩けない」などの生活に支障が出てきます。早い時期にしっかりと手当てすることが後期高齢期の生活の質を左右します。

体は、骨と筋肉のバランスによって正常な体位を保っています。正しい姿勢をどれくらいの人がご存知でしょうか。

脊椎のカーブは保たれていますか？ 骨盤はしっかりと後ろに引いていますか？ 上体が下肢にしっかりとのっていますか？ お尻の筋肉はしっかりと収めていますか？ とりあえずこの4つを確認してください。そして、力まず、正しい姿勢でゆったりとウォーキングをはじめましょう。

老いと向き合って生きる

楽しく予防スリーAゲーム研修会

■日時 9月27日(木)・10月11日(木)・31日(水)

3回受講(受付：午前9時30分)

■場所 東近江市能登川保健センター

※詳細は、NPO法人認知症を学び介護する会 ほぼえみ(担当)山本：090-1674-5512までお問い合わせください。

東近江市高齢者生きがい補助事業

自主防災活動リーダー研修会を開催

今年度で3年目の開催となり、6月に4回に分け実施（下表）。初回は公開講座で、講師に浦野愛氏を招き「東日本大震災被災地支援活動から学ぶ」の講演と、猪又隆弘氏を招き「南三陸町の現状と課題」についてのお話をいただきました。参加者は被災地の状況や課題、防災に対する取り組みのあり方などを聞き、自身の身の安全、地域としての防災対策の必要性和対策の方法を改めて痛感した思いで聴講されていました。



公開講座

回	月日	場 所	テ ー マ	講 師（敬称略）	参加者
1	6/ 2	やわらぎホール	「東日本大震災被災地支援活動から学ぶ」 「南三陸町の現状と課題」	レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛 南三陸町社会福祉協議会 課長 猪又隆弘	99名
2	6/ 9	支所別館	「自主防災の役割と行動」	東近江市生活安全対策課 西村要一郎	35名
3	6/16	やわらぎホール	「救急救命講習」	能登川消防署	30名
4	6/23	やわらぎホール	D I G（災害図上演習）	山口大学大学院 准教授 瀧本浩一	33名



A E D使用実習

東近江市立能登川病院の現状学習会



6月14日(木) 能登川支所別館にて、37名(東近江市・能登川地区在住の市議会議員・まちづくり推進会議など)が参加して開催されました。

参加者からは、医師、整備計画、安心の病院、アクセス、救急病院などに関する多くの質問が出ました。最後に東近江市病院事業管理官の中条忍氏から「病院は地域のもの、みなさまの意思表示をお願いしたい」との発言がありました。

前号(31号)の記載事項の修正をお願いします。

— 修正箇所

- 能登川まちづくり推進会議の参画団体の修正
 - (誤)能登川地区少年補導委員会
(正)能登川地区少年補導員会
 - (誤)NPO法人えとこ
(正)NPO法人エトコロ
 - (誤)東近江市健康推進委員協議会能登川支部
(正)東近江市健康推進員協議会能登川支部
 - (誤)体育指導員協議会(能登川)
(正)東近江市スポーツ推進委員協議会(能登川地区)
- 第6回東日本大震災復興支援ボランティア活動報告の修正
 - (誤)延106名の参加
(正)延107名の参加
 - (誤)参加いただいたかたがた(敬称略58名)
(正)参加いただいたかたがた(敬称略62名)
 - 参加いただいた方の記載漏れ
追加：長谷川兼三、澤文一、柴田恭仁子、服部友香
- 平成24年度「まちづくり委員」の修正
 - (誤)南須田町自治会 加藤英男
(正)南須田町自治会 松原正之



能登川まち協が目指す「まちづくり」

平成24年度から能登川コミュニティセンター、やわらぎホール、能登川勤労者会館の3館の指定管理を担当させていただき、まちづくりの拠点とするべく、さまざまな活動を図りつつあります。これら3館は合併前から市民に親しまれてきた施設であり、より利便性の高い運営管理に心がけているところです。

指定管理を受けて早や4ヶ月が過ぎようとしていますが、より良い運営管理の充実を図っていくためにも、能登川地区のみなさまからの意見、要望などをいただき、反映していきます。能登川地区には多くの市民団体が活動されています。この地区の活性には、これらの団体の活動と同時に連携も重要と考えています。市民の手で、また市民主体で解決、改善できる課題も多くあり、そのひとつに「災害に強いまちづくり」

があり、能登川まち協では自主防災組織化の後援として自主防災活動リーダー研修会を開催しました。

すでに多くの自治会で自主防災組織を立ち上げておられますが、その中身はさまざまであり、自主防災リーダー研修会の受講者はその重要性を認識されたことと思います。自主防災組織化の後援はもとより、自主防災組織の連携と協力のネットワーク、更には、市、消防、警察などの行政機関との連携ネットワークを強化し、能登川地区のみなさまが災害に遭遇しても、命は助かる体制づくりなどを考えていきたいと思っています。

ひとり一人が、自立した市民として、「まちづくり」に参加できる能登川地区を目指していきます。

能登川地区まちづくり協議会会長

藤居 正博